

認定特定非営利活動法人 療育センター燦々



キャッチフレーズ

発達障がいをもつ人たちが
地域の中でいきいきと
自分らしく生きることを
応援します！

団体の活動、セールスポイント

発達障がいと診断された学齢期を中心とする子どもたちに、社会の中で適応して生活していくためになくてはならない大切な対人関係やコミュニケーション等の社会的スキルを身につけさせることを目的として、次のような事業に取り組みながら、発達障がいをもつ人たちの自立支援を目指しています。更に今年度からは、「児童発達支援事業所ひまわり」を創設して、ライフステージのスタートラインともいえる就学前の児童を対象とした集団及び個別療育を開始しました。



- ①療育事業…個別・集団療育の実施及び相談事業や訪問事業を行い関係機関との連携を図る。
- ②教育研修事業…「さんさん講演会」の開催
- ③啓発事業…「さんさん祭りの開催」「さんさんティーパーティーの開催」機関紙の発行(年4回)

寄附を受けて取り組みたい事業

これまでに寄附を活用して実施した事業

発達障がいを持つ子どもたちの支援をしていく上で、保護者だけではなく兄弟姉妹等の家族の本人理解や支援はとても大切であり、そこからさらに地域への啓発活動へと繋がっていくことが当 NPO 法人の目標のひとつでもあります。今年度から児童発達支援事業所「ひまわり」を開所して、3～6歳の児童を中心とした療育に取り組み始めていますが、家族支援とエンパワメントの促進事業として、地域に開かれた親子活動を考えています。具体的には発達障がいを持つ子どもだけではなく、その兄弟姉妹や地域の定型発達の子どもたちと共に、親子で楽しめる遊びや創作活動などを専門家に指導を受けながら展開していきたいと考えています。

団体の目標

●一貫した支援

乳幼児期から成人期に至るまでの一貫した発達障がいに対する支援をする。

●ノーマライゼーションへの取り組み

発達障がいの人たちがそれぞれ能力を十二分に発揮し、周囲の人々からの正しい理解の中で生活していけるためのノーマライゼーションへの取り組みをしていく。

●関係機関との連携

保護者を中心とした周囲の関係者や学校を始めとする関係機関と密接な連携をとる。



団体から寄附者へのPR

学校や地域での集団生活に適応することが難しく困っている子どもたちに、個々に合わせたコミュニケーションやまわりの人たちとの関係作りを育てるソーシャルスキルプログラムに基づいて療育をしています。これまで200人近い子どもたちの療育を行って、彼らの社会性の向上のために役立っています。また本人だけでなく、学校を始めとする関係諸機関との連携を大切にして保護者の困り感等についても関係者と協議したり実践指導をしたりするなどして本人の居場所作りやスキルアップのために尽力しています。

認定特定非営利活動法人 療育センター燦々

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2944-1
Tel 0853-63-5604
fax 0853-63-5604
mail npo-sansan1@mocha.ocn.ne.jp
ブログ <http://blog.canpan.info/rsansan-blog>